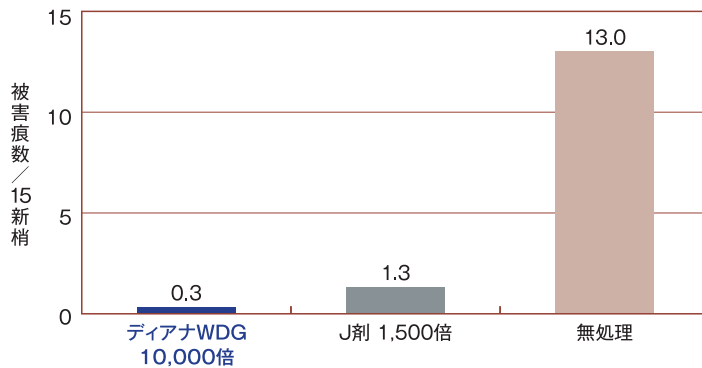




も も

モモハモグリガ(圃場試験)

■防除効果①



実施年:2007年

試験場所:福島県植物防疫協会

供試作物:もも(品種:ふくえくぼ)8年生

発生状況:中発生

区制・面積:1樹/区、3反復

散布日:6月11日(成虫発生盛期)

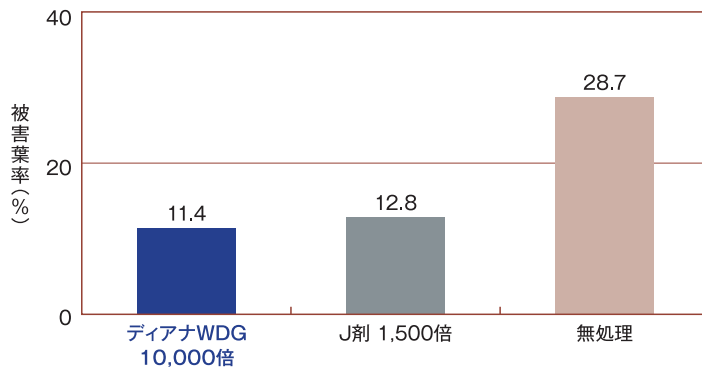
散布量:15ℓ/樹(十分量)

調査日:6月25日(散布14日後)

調査方法:マークした新梢部全葉の被害を調査。
(散布前に15新梢/樹をマークし、被害葉を全て除去。)

**対照薬剤に対して優る効果で
実用性が高い。**

■防除効果②



実施年:2006年

試験場所:日本植物防疫協会研究所(山梨)

供試作物:もも(品種:早生白鳳、ゆめしずく)5年生

発生状況:多発生

区制・面積:1樹/区、2反復

散布日:5月30日

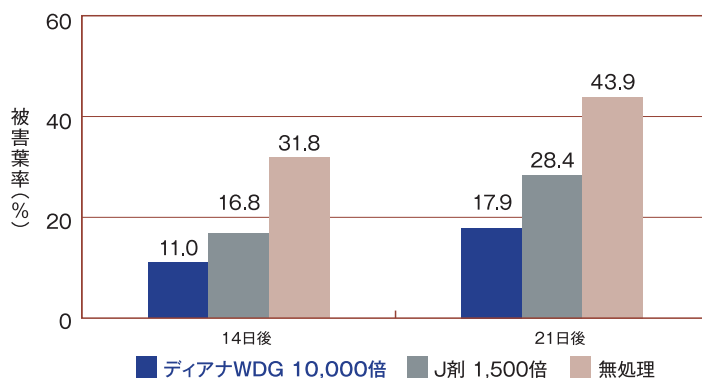
散布量:1.5ℓ/樹

調査日:6月15日(散布16日後)

調査方法:マークした新梢部全葉の被害を調査。
(散布前に7新梢/樹をマークし、被害葉を全て除去。)

**対照薬剤に対して同等の効果で
実用性がある。**

■防除効果③



実施年:2007年

試験場所:日本植物防疫協会研究所(山梨)

供試作物:もも(品種:日川白鳳)6年生

発生状況:多→甚発生

区制・面積:1樹/区、2反復

散布日:5月23日(成虫発生盛期)

散布量:2.5ℓ/樹

調査日:6月6日(散布14日後)

6月13日(散布21日後)

調査方法:マークした新梢部全葉の被害を調査。
(散布前に5新梢/樹をマークし、被害葉を全て除去。)

**対照薬剤に対して優る効果で
実用性がある。**



も も

混用薬害事例

■ディアナWDG 5,000倍との混用で実施

	混用薬剤名	希釈倍数 (倍)	薬害の 有無		混用薬剤名	希釈倍数 (倍)	薬害の 有無
殺菌剤	ICボルドー412	30	○	殺菌剤	バリダシン液剤5	500	○
	ICボルドー 66D	50	○		バルノックスフロアブル	500	○
	アグレプト水和剤	1,000	○		ビスダイセン水和剤	500	○
	アフエットフロアブル	2,000	○		フロンサイド水和剤	2,000	○
	アフエットフロアブル15	1,500	○		ベルコート水和剤	1,000	○
	アンビルフロアブル	1,000	○		ベルコートフロアブル	1,000	○
	イオウフロアブル	500	○		ベンレート水和剤	2,000	○
	オーソサイド水和剤80	600	○		ロブラール水和剤	1,000	○
	カスミンボルドー	500	○	ダニ剤	オサダン水和剤25	1,000	○
	スターナ水和剤	1,000	○		カネマイトフロアブル	1,000	○
	ストロビードライフフロアブル	2,000	○		スターマイトフロアブル	2,000	○
	ダイボルトフロアブル	500	○		ダニサラバフロアブル	1,000	○
	ダコレート水和剤	1,000	○		ダニトンフロアブル	1,000	○
	デランフロアブル	600	○		バロックフロアブル	2,000	○
	トップジンM水和剤	1,000	○		マイトコーネフロアブル	1,000	○
	ナリアWDG	2,000	○				

薬害の有無 ○:実用性に問題なし、 ×:実用性に問題あり

※この混用薬害事例は、農薬の現地混用に関する物理化学性や作物に対する薬害の試験事例を参考として紹介するもので、混用を薦めたり結果を保証するものではありません。

品種別薬害事例

■ディアナWDG 5,000倍で薬害が認められなかった品種

あかつき、YDあかつき、日川白鳳、早生白鳳、ゆめしずく、恋みらい、ふくえくぼ、よしひめ、川中島白桃、橋場白鳳、大久保

